



熊野灘に面し、リアス海岸が続く三重県南伊勢町。うららかな陽気に誘われて、変化に富んだ海岸線を望む展望台を巡って

みた。東西に長い同町には多くの半島があり展望台が点在する。なかでも人気が高いのが鶴倉半島

恋人の聖地“海のハート”

にある鶴倉園地で四つの展望台が整備されている。贄湾と奈屋浦湾の間にある同半島は車で周遊できる。贄浦漁港から四キロ超ほど上ると、お目当ての「ハートの入り江」を見ることができ

る見江島展望台に着いた。駆け足で坂を上ると、視界が開けた。腕組みをして数秒後、横向きだがハートに見える。人けの少ない同エリアで、初めて居合わせたカップルの反応も「あれだね」と冷静だった。この入り江は、かさらぎ池と呼ばれ、奥には「アオサのり」のそだがある。二〇一五年に恋人の聖地に認定され、鐘が付いたハートのモニUMENTも立っている。一人で鳴らした鐘の乾いた音は海風に乗って寂しく響いた。

こちらとは対照的に楽しそうなカップルは愛知県瀬戸市の安達翔さん(28)と鈴木麗菜さん(28)。安達さんは初めて二人で海に来ましたが海の色がいいですね。これからもずっと二人でいたいな」と照れながら話してくれた。傍らで鈴木さんがうなずいたように見えた。恋人の聖地にふさわしい雰囲気だった。残りの三つの展望台も立ち寄ってみたが、それぞれ違った海



展望台巡り 三重県南伊勢町



見江島展望台からハートの入り江を望む
カップル。いずれも三重県南伊勢町で



新鮮な魚が並ぶ古和浦地区の「久屋」

の表情を見ることができ

「あけぼの展望台」は贄湾や熊野灘、「かさらぎ展望台」は南島大橋と阿曾浦大橋の親子橋、さらに「たちばな展望台」は奈屋浦湾などが望める。海岸線には荒々しい磯が続き、湾内には養殖いかだも点在する。

入り江が多い同町には浦が付く地区が多い。古和浦地区の町並みを散策すると「久屋」という鮮魚店を見つけた。中に入ると、おかみさんが魚の前に食べ方などを教えてくれた。十五種類ほどの自家製の干物は、もちろん天日干しで驚くような安さだった。夕暮れの磯浦漁港では、採ってきたばかりのヒジキを家族総出で干す光景がいたるところで見られた。小学生の女の子も腰をかがめて必死に作業していた。風に乗って潮の香りがした。海の息吹を感じた一日だった。

昼食は同町五ヶ所浦地区にある一九五一(昭和二十六)年創業の玉山食堂に向かった。同エリアではラーメンとにぎりずしのセットが定番と聞いて楽しみにしていたが、最近、にぎりずしはメニューからなくなり、ち

は、採ってきたばかりのヒジキを家族総出で干す光景がいたるところで見られた。小学生の女の子も腰をかがめて必死に作業していた。風に乗って潮の香りがした。海の息吹を感じた一日だった。